

紫波町地域づくり指針(案)に関する意見公募結果

1 意見公募期間

令和 3 年 5 月 17 日 (月) ~令和 3 年 6 月 7 日 (月) まで

2 周知方法

町広報「紫波ネット」、町ホームページ

3 閲覧場所

町ホームページ、各地区公民館、市民活動支援センター「ゆいっとサロン」、紫波町図書館、企画課

4 意見提出者数

1 名

5 意見総数

11 件

6 提出された意見の概要と町の考え方

番号	意見の概要	意見に対する町の考え方
1	p.6 (2) 地域コミュニティ組織等 ・ 構成員全員で話し合いの頻度が 44.4%や 64.1%となっているが、根拠が示されていない。 また、行政区は組織ではないので誤解を招く可能性があり、表現を工夫してほしい。	行政区長及び自治公民館長にアンケートを取った結果を掲載したものです。調査結果がわかるように資料を追加し、本文の整理をいたします。
2	p.6 (2) 地域コミュニティ組織等 ・ 地域自治の中心となる組織の集計表が掲載されているが、地域によって事情が違おうと思うので、解説を入れると分かりやすいと思う。	町内の自治組織の構成は、地区によって傾向が異なります。住んでいる地区以外の状況もわかるように解説したいと思います。
3	p.6~7 (1) 自治組織等実態調査結果 ・ 調査結果の地域課題が掲載されているが、まとめて分かりやすく文章化したほうが良いのではないかと。	平成 26 年度に実施した調査結果を抜粋して掲載したものです。地域課題が分かりやすいように文章化して掲載することを検討いたします。
4	p.8②地域運営組織の現状 ・ (5 行目)「地域を代表する組織でありながら」の表現は、自治公民館長や行政区長は地域を知らなければならないと受け取られる。誤解のない表現にしてもらいたい。	自治公民館長、行政区長の義務等ではないことに配慮し、誤解を与えないような表現に訂正いたします。

5	p.8②地域運営組織の現状 ・(7行目)「地域の要望やステークホルダーのニーズを聞いていない組織が多い」の根拠のデータが見られない。	地区コミュニティ基礎調査の結果において、該当する資料を追加いたします。
6	p.8②地域運営組織の現状 ・(9行目)大抵の地域コミュニティでは様々なデータを持ち合わせていないと思われるので、現状の分析としては表現を工夫したほうが良い。	地域コミュニティで様々なデータを持ち合わせていないことが悪いことのような誤解を与えないように、表現を訂正いたします。
7	p.8②地域運営組織の現状 ・(11行目)「バランス良く」とはどういうことか。	一般的に組織の運営には、計画策定や実行、評価、改善などのサイクルや、人材育成、資金調達など様々な取り組みが必要といわれております。集落単位ですべてを行うことは難しいと思われるので、負担感を与えないような表現に訂正いたします。
8	p.8②地域運営組織の現状 ・(11行目)「情報共有、意思決定、計画策定、見直し、人材育成」などの取り組みは集落単位ではハードルが高い。	
9	p.8③地域活動の現状 ・平成26年度の調査実績では福祉活動は「活発である」と示されているが、p.8では「十分に行われていない」と記載されている。違いは何か。	地域における福祉サービスは、時代に合わせてニーズが高くなっていくと思われます。それぞれの調査時点での評価基準が変わっているので、分かりやすい表現に訂正いたします。
10	p.8③地域活動の現状 ・「移住・定住」の取り組みは地域コミュニティでやらなければならないことなのか。	地域コミュニティにおいても「移住・定住」への取り組みが行われることは望ましいと考えます。しかし、地域へ負担感を与えない表現に訂正いたします。
11	方針、方向性において、どこかで「地域自治」が意識される書き方をしてほしい。	持続可能な地域社会のためには「地域自治」が発揮されることが重要だと考えます。「地域自治」が意識づけられるように本文を検討いたします。